

いきいき佐久広域づくり 3つの柱

平成15（'03）年の県議会議員選挙で公約し、この4年間の議員活動で改めて成果を精査しました“**元気が出る長野県づくり5つの提言**”〔行財政改革・中小企業対策・公共事業対策・教育問題・高齢者福祉〕は、“**プリフェクチュラル・ミニマム**”〔県民生活環境最低基準＝県民が県によって最低限保障されるべき公共サービス〕の実現が目的です。

その基盤整備の上に乗って“夢”のある地域づくりのために“**いきいき佐久広域づくり 3つの柱**”を提言します。この3つの柱を実現させることにより“**ローカル・マキシマム**”〔地域生活環境最高水準〕を目指していきます！！

1. 地域要望道路の実現！

- ①中部横断自動車道の建設促進
- ②国道254号・142号の整備促進と国道141号の4車線化早期完成
- ③地域の安全安心を守り円滑な交通を確保するバイパスの建設促進
- ④狭隘部分を抱える既存県道の拡幅推進
- ⑤農業振興や環境保全とともに地域の生活利便向上を図る広域農道や基幹林道の整備推進

2. 地域農業の振興！

- ①農業品目〔野菜・米・果樹・花きなど〕ブランド化の一層の推進
- ②生業としての農業を守る後継者の育成
- ③地域農業を支えつつ技術習得に熱心な研修生の受け入れ推進
- ④団塊世代や高齢者が生きがい対策として従事できる農業の確立
- ⑤遊休荒廃地対策に取り組み環境保全を目的とする農業への支援充実

3. 地域の特性・風土や文化・伝統を活かしたまちづくり！

- ①晴天率日本一を活かした太陽光関連産業の誘致や地元の起業に対する積極的な育成支援
- ②佐久広域住民の暮らしの安心を守る医療機関の充実整備に関する力強い支援
- ③一年を通じて誘客がある日本有数の高原観光地のさらなる発展を図るきめ細やかな支援